

結城商工会議所（茨城県）

まちなか音楽祭「結いのおと」

大賞

受賞者概要

- ◆ 結城市は歴史的な建造物やまちなみ、結城紬等の地場産業、伝統産業、自然、風景や気候を有している。これらに対する市外での評価の高まりに伴い、結城市民も、その価値を再認識しつつある。
- ◆ 結城商工会議所は株式会社TMO結城と連携し、「結いプロジェクト」の活動に共に取り組んできた。歴史と文化が息づくまち「結城市」を舞台にした回遊型の音楽祭「結いのおと」を2014年から開催している。
- ◆ 音楽イベントというと、郊外の広場や人里離れた山の中で開催するのが主流だが、「結いのおと」は結城市の中心部で開催するという独自性の高いものとなっている。

功績点

1. 地域資源を効率的に活用し、一大イベントに成長

- ◆ 地域固有の歴史的・文化的資源である、寺社仏閣・酒蔵・結城紬の産地問屋等をユニークベニューとしてライブステージに活用。
- ◆ 結城紬の着物を着て出演してもらうほか、参加者に対し、着物のレンタルを実施。SNSでも大きな反響を得ている。
- ◆ 当初の動員数は200人程度であったが、独自の取り組みが注目を集め、開催を重ねる度に話題となっていた。その結果、2023年度は2日間で1万人超を動員する一大イベントに成長。

2. 「結いのおと」の成長が地域経済に波及

- ◆ 「結いのおと」が一大イベントへと成長した結果、地域に6000万円の経済効果を創出。事業者がエリアに可能性を感じ、これまでに通算15店舗が開催エリアに進出。地域に新たな雇用を生みだしている。

3. まちなかマーケット等、他事業も全面支援

- ◆ 「結いプロジェクト」は「結いのおと」だけではなく、商工会議所の全面的な支援により、まちなかマーケット「結い市」や古民家をリノベーションしたシェアスペース「yuinowa」、ゲストハウス「HOTEL (TEN)」等、年間を通じ様々な事業を実施している。



▲2010年から始まった「結いプロジェクト」。現在は大きく成長し、「結い市」等、様々な事業を展開している



▲まちの文化資源を舞台に行う「結いのおと」は1万人以上を動員する一大イベントに成長



▲まちの随所で演奏が行われ、「結いのおと」を訪れた多くの人が耳を傾けた



▲結城市に移住し、結いプロジェクトへ参加する事業者も増加